

COMPASS

答えの無い問いを探していく。そんな時代だから目指す方位を指し示すものが必要だ。そのようなものに私はなりたい。

学力向上に向けての取組を振り返りましょう！



「学力向上通信」を御活用いただきありがとうございました。
 この1年間で先生方の学校においては、学力向上の取組に進展はありましたか？
 「学力向上通信『COMPASS』」が少しでもお役に立つことができていると嬉しい
 です。最終号では、この1年間の振り返りをします。まずは、下のチェックシ
 ートを参考にして、先生方の学校での取組を見直してみましょう！

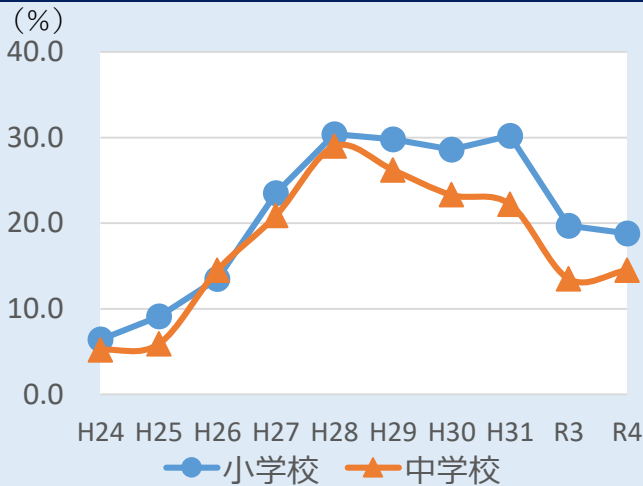
全国学力・学習状況調査を活用した学力向上のための取組についてのチェックシート例

(令和4年度総合教育センター学力調査部作成「学力向上の手引き」より引用)

No.	チェック項目	☑
管理職としての取組		
1	調査結果の周知や改善の取組を学校全体で行うことができるような体制を整えた。	
2	教務主任や研究主任等と連携し、調査結果を職員全体で確認させ、課題を明確にした。	
3	教育計画の作成に当たり、これまでの調査内容や結果を参考にした。	
4	教科に関する調査と質問紙の調査結果を学校経営の指針や校内研修の主題検討の参考にした。	
5	保護者や地域の学校教育活動への協力・連携を進めるため、調査結果の公表を行った。	
6	保護者や地域と協力・連携して、調査結果を活用した取組を行った。	
教務主任、研究主任等としての取組		
7	文部科学省からの結果データを速やかにダウンロードし、保管している。	
8	分析ツールを総セWebサイトからダウンロードし、4種類の分析シートを作成した。	
9	印刷した分析シートを、活用しやすいように保管している。	
10	教科に関する調査の自校の結果について、職員全体に周知した。	
11	質問紙調査の自校の結果について、職員全体に周知した。	
12	報告書や授業アイデア例など、文部科学省からの資料を職員全体に周知した。	
13	調査や結果に関連するデータをファイルし、職員全体が活用できるようにした。	
14	校内研修等で、分析シートを活用して職員全体で分析できるようにした。	
全職員に関わる取組		
15	教科に関する調査の問題を解き、内容と出題の意図を確認した。	
16	調査後に、児童生徒の解答を確認または採点し、実態を把握した。	
17	校内研修等で、問題及び解説資料を基に指導改善のための話し合いを行った。(結果提供前)	
18	教科に関する調査の自校の結果を確認した。	
19	質問紙調査の内容と自校の結果を確認した。	
20	S-P表を活用し、実態に即した指導方法の検討をした。	
21	分析シートの活用の仕方について、「令和4年度 学力向上の手引き」を参考にした。	
22	「教科・質問紙分析シート」を活用して分析し、改善方策を検討した。	
23	「経年分析シート」を活用して分析し、改善方策を検討した。	
24	「誤答分析シート」を活用して分析し、改善方策を検討した。	
25	「クロス集計シート」を活用して分析し、改善方策を検討した。	
26	教科指導について関係する学年間や教科担当で課題を共有した。	
27	教科指導について検討した改善方策を基に授業を実践した。	
28	質問紙調査の結果を基に課題を検討し、授業改善の方策を検討した。	
29	質問紙調査の結果を基に課題を検討し、学級経営の改善方策を検討した。	
30	検討した改善方策を基にした授業実践を評価し、改善点を話し合った。	
31	分析シートを基に学校全体の改善方策と実践について振り返り、次年度の取組に生かした。	
32	過去の調査問題を活用し、児童生徒の実態把握を行った。	
33	調査問題を、校内研修や授業づくり、または授業を行う中で活用している。	
34	調査問題を、教材やテスト、児童生徒への課題作成の参考に使っている。	
35	「令和4年度 学力向上の手引き」を指導改善の参考にした。	
36	「思考し、表現する力」を高める「実践モデルプログラム」を基に指導改善を行った。	
37	「学力向上通信 COMPASS」を指導改善の参考にした。	

学校質問紙調査の回答状況に関する経年変化

「(前年度の)全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか」



「よく行った」と回答した学校の割合は、新型コロナウイルス感染拡大の前から、特に中学校において減少傾向にあったんですね！



「よく行った」と回答した学校では、実際にどのようなことに取り組んでいるのでしょうか？



「よく行った」と回答した学校の取組について紹介します。もちろんここで紹介するのは一部ですが、**みなさんの学校でも参考になれば**と思います！



【県内A 中学校の場合】

- ①月に一度の**校内研修会**で、授業改善の進捗状況や評価の工夫について**検証**する。
- ②**隣接の小学校と課題を共有**し、小学校から中学校に続く9年間の学びの接続や、**地域と連携した教育課程の工夫**に取り組む。
- ③**改善方策の進行状況を校内組織で評価**する。

【県内B 中学校の場合】

- ①**年度初めの職員研修で生徒の学習課題を共有**し、各教科や学年の取組の工夫をしていくように共通理解を図る。
- ②時間割の中に**教科部会**を位置付け、**毎週開催**できるようにする。

【県内C 小学校の場合】

- ①学力調査の分析研修で、実際の問題を先生方が解いた上で、問題の傾向などから、「**どのような子供たちを育てていかなければいけないか**」という意見を出し合い、**共通認識をもてるように**する。

【県内D 小学校の場合】

- ①**推進体制を構築するために、年度末もしくは年度初めの研修に取り入れ**、全学年でどのように学習指導をしていけばよいかを確認する。
- ②**学校だよりや学年だよりを利用して**、学習状況や生活習慣についての**啓発を行う**。

【県内E 小学校の場合】

- ①**問題を全職員が実際に解き**、難易度や出題傾向を確認する。
- ②平均正答率が高かったり、低かったりした**問題を抽出し、課題と対応について、職員間で話し合う**。

それぞれの学校で素晴らしい取組を行っていますね。非常に多忙な中ですから、学校教育目標の実現に向けて、学校として取り組めることについて**柱建てをして、職員間で共通認識をもち、継続的に**行っていくことが重要ですね。ちなみに、学力が向上した取組には共通点があります。

- ①**学力向上部会を組織として位置付ける**
- ②**全学年・全教科同一歩調の共通理解を図る**
- ③**子供が学びやすい環境を整える**
- ④**学校外の人的資源・物的資源を有効活用する**

先日配付された学力向上のリーフレットなども参考にしましょう！



先生方の学校においても、これらの学校の取組や今年度発行した学力向上通信「COMPASS」を参考にいただき児童生徒の学力向上に向けた取組を推進していきましょう！



令和4年度に引き続き、より充実した学力向上通信の発行によって、本県の学力向上の推進を図ってまいりますので、アンケートへの御協力をお願いいたします。 <https://forms.office.com/r/2vg2U2m6nQ>

回答期限は令和5年3月30日です。皆様からの回答をお待ちしています！

令和4年度 千葉県学力向上通信「COMPASS」に関するアンケート

